

横浜市子ども・子育て支援事業計画 ～子ども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン～ 策定にあたって



すべての子どもの健やかな成長を支えるための「子ども・子育て支援新制度」が、平成27年4月、いよいよスタートします。

これまで、「かがやけ横浜こども青少年プラン」に基づき取り組んできた子ども・青少年施策を、新制度のもと一層拡充し推進していくため、今後5年間の基本計画となる「横浜市子ども・子育て支援事業計画～子ども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン～」を策定しました。

策定にあたっては、学識経験者、子育て支援者、保育・教育関係者、実際に子育て中の方々などに参画いただいた「横浜市子ども・子育て会議」、そして市議会で御議論をいただきました。また、ニーズ調査や意見交換会、パブリックコメント、フォーラムなど様々な機会を通じて、多くの皆様から御意見を頂戴しました。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

子どもや青少年は、家族にとっても、社会にとっても、大きな可能性を持つかけがえない存在であり、未来を創る力です。そして、横浜市の子ども・子育てを、大変多くの市民、関係者の皆様が支えてくださっています。

今後、本計画に基づき、保育所待機児童対策や保育・教育の質の維持・向上、地域子育て支援拠点事業などの在宅の子育て家庭への支援、放課後児童施策の充実、青少年の地域活動拠点づくり、ワーク・ライフ・バランスの推進など、これまで以上に幅広く取組を進めていきます。

自助・共助・公助の考え方を基本に据え、社会全体による切れ目ない子育て支援、更には女性の活躍支援につなげていきます。

一人ひとりの子どもが、横浜で幸せに、健やかに育ち、自分の良さや可能性を發揮し、そしてまた、次の世代を横浜で育てていく。こうした連綿と続く営みにより、横浜の未来が創られていきます。

御一緒に、「子どもも大人も、みんながわくわくできる」横浜を創っていきましょう。皆様の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

平成27年3月

横浜市長 林 文子

横浜市子ども・子育て支援事業計画 ～子ども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン～ 策定にあたって



子どもと子育てをめぐる状況が今、大きく変わろうとしています。日本社会が少子化に危機感を抱いた1990年の1.57ショックから今日まで、四半世紀に及んで関係者が議論を重ね、政治的にも超党派で決議をしてきた「子ども・子育て支援新制度」の開始は、新たな未来の幕開けと言っても過言ではありません。

新制度の特徴は、従来「医療」「年金」「介護」から成り立っていた社会保障に「子ども・子育て」が加えられ、恒久的な財源が充てられることです。子育て支援が国の最重要政策の一つに位置づけられたわけですが、同時にその具体化の主翼を基礎自治体が担うことも、新制度の大きな特徴の一つです。換言すれば、首長をはじめ行政担当者のやる気とセンスが問われる時代を迎えたと言えますが、その確かな手応えを実感できたことが本事業計画策定に関わらせていただいた大きな喜びでした。

横浜市子ども・子育て会議は平成25年4月に設置され、その下に子育て部会、保育・教育部会、放課後部会の3部会が置かれ、本会議が8回、部会は3部会で計34回に及びました。これほどに注力された構成で展開された子ども・子育て会議は全国でも例を見ません。各委員が非常に熱心に会議に臨み、活発な意見交換を行いました。それを支えて下さった事務局のご尽力には敬服の思いです。委員の皆様と事務局に心から感謝申し上げます。

こうしてスタートする新制度ですが、社会環境の変化は大きく、子どもや保護者のニーズも年々多様化することでしょう。「子ども・青少年」の幸せを願う視点を基本に、子育て世代を社会全体で支えていくことを施策分野の柱として位置付けた本事業計画が着実な進捗を遂げるよう、子ども・子育て会議は今後とも市と車の両輪でPDCAサイクルの確保に努めていきたいと思っております。

子育ては楽しいことばかりではなく悩みや苦しみもありますが、様々な発見や感動を通して親も子も共に育っていきます。親子の健やかな成長を間近に見守り支えることに、地域の皆が喜びを見いだせる市でありたいという、本事業計画のサブタイトルに込められた思いに、市民が心を一つにしていくことを心から願っております。

平成27年3月

横浜市子ども・子育て会議委員長

大日向 雅美

～ 目 次 ～



第1章 横浜市子ども・子育て支援事業計画について

- (1) 計画の趣旨・位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (2) 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- (3) 計画の対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- (4) 本市における他計画との関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

第2章 本市の子ども・青少年や子育て家庭を取り巻く状況と課題

- (1) 家庭、地域及び社会の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- (2) 厳しさを増す子ども・青少年の養育環境・・・・・・・・・・・・・・20
- (3) 横浜市次世代育成支援行動計画「かがやけ横浜こども青少年プラン後期計画」の振り返り
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

第3章 本市の目指すべき姿と基本的な視点

- (1) 目指すべき姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
- (2) 計画推進のための基本的な視点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

第4章 施策体系と事業・取組

- (1) 施策分野・基本施策とその関係性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
- (2) 各施策における現状と課題及び今後の方向性

施策分野1	子ども・青少年が様々な力を育み、健やかに育つ環境をつくる《子ども・青少年への支援》	
基本施策①	乳幼児期の保育・教育の充実と学齢期までの切れ目のない支援	36
基本施策②	学齢期から青年期までの子ども・青少年の育成施策の推進	53
基本施策③	障害児への支援	60
基本施策④	若者の自立支援の充実	70
施策分野2	出産・子育てがしやすく、子育てが楽しいと思える環境をつくる《子育て家庭への支援》	
基本施策⑤	生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援の充実	76
基本施策⑥	地域における子育て支援の充実	83
基本施策⑦	ひとり親家庭の自立支援／配偶者等からの暴力（DV）への対応と未然防止	91
施策分野3	自助・共助・公助の意識を大切にし、社会全体で子ども・青少年を育てる環境をつくる 《社会全体での支援》	
基本施策⑧	児童虐待防止対策と社会的養護体制の充実	100
基本施策⑨	ワーク・ライフ・バランスと子どもを大切にするまちづくりの推進	110

第5章 保育・教育及び地域子ども・子育て支援事業に関する5年間の量の見込み、確保方策

- (1) 保育・教育に関する施設・事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・120
- (2) 地域子ども・子育て支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・126

第6章 計画の推進体制（PDCAサイクルの確保）

- (1) 子ども・子育て会議での審議と実施状況の公表・・・・・・・・・・153
- (2) 様々な主体による計画の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・154

参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・155

【コラム一覧】

章	コラム題名	ページ
第2章	「渋沢地区元気づくり協議会」の取組 子育てサロン「はぐはぐ」など	16
	地域における幼・保・小連携の取組	16
	「福祉教育」で育む地域社会とのつながり	17
	メディア機器の利用にルールを！	18
	外国籍・外国につながる児童生徒に向けた学習支援（中区・南区）	19
第4章 【基本施策①】	保護者の一日保育士体験	41
	公共建築物における木材の利用を促進します！！	43
	よこはまECO保育所ってご存じですか？	43
	保育教諭とは…	47
	放課後キッズクラブと放課後児童クラブ、どう違うの？	48
第4章 【基本施策②】	学齢期の子どもたちの心配事って、誰に相談したらいいの？どこに行ったらいいの？	56
	青少年健全育成活動の推進役～青少年指導員について～	59
第4章 【基本施策④】	ユースサポーター訪問事業について	73
第4章 【基本施策⑧】	「横浜市子供を虐待から守る条例」が制定されました！	103
	児童養護施設の若者の夢を支援するプログラム「カナエール」	106
第4章 【基本施策⑨】	ベビーカー利用の安全性・快適性の向上に向けて～国土交通省「公共交通機関等におけるベビーカー利用に関する協議会」～	112
	よこはまグッドバランス賞～働きやすく子育てしやすい中小事業所～	114
	「子育てりびいん」って知ってますか？	117